

InBody970s

ユーザーマニュアル

品番

特定計量器非対応 InBody970S

特定計量器対応 InBody970S (K)

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーマニュアル(本書)をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

InBody

InBody970S に問題が生じたり、臨床に関する質問が生じたりした場合、下記の連絡先までお問い合わせください。

株式会社インボディ・ジャパン

〒136-0071 東京都江東区亀戸 1-28-6 タニビル

TEL: 03-5875-5780 FAX: 03-5875-5781

Website: <https://www.inbody.co.jp> E-mail: inbody@inbody.co.jp

InBody Co., Ltd. (製造元)

06106 InBody Building, Yongju-ro 625, Gangnam-gu, Seoul, Korea

TEL: +82-2-501-3939 FAX: +82-2-578-5669

Website: <https://www.inbody.com> E-mail: info@inbody.com

本書の内容の一部または全てを、無断でコピーしたり他の媒体(磁気、電気、写真等の如何を問わず)やシステムに転用したりすることを禁じます。本書の校正には注意を払っておりますが、誤字・脱字がある可能性があり、予告なしに変更することがあります。(株)インボディ・ジャパンは本書に述べられた必要条件を満たさないことによってもたらされた損害については一切の責任を負いかねます。

InBody に関する更なる機能と結果項目説明などの詳細な情報は、(株)インボディ・ジャパンのホームページ(<https://www.inbody.co.jp>)にて閲覧できます。なお、製品の外観、仕様などは性能改善のために予告なしに変更されることがあります。

InBody970s

ユーザーマニュアル目次

特定計量器の場合	4
I. InBody 設置	
A. 製品構成	5
B. 設置環境	6
C. 設置方法	6
D. InBody 必須設定	10
E. 外部機器の接続	14
F. 管理時の注意事項	20
II. InBody 測定	
A. 測定前の注意事項	21
B. 測定方法	22
C. 測定姿勢	25
III. 運送と保管	
A. 運搬時の注意事項	26
B. 再梱包の方法	26
C. 運送及び保管環境	27
IV. よくある質問及び回答	
A. InBody に関して	28
B. 測定に関して	30
V. その他	
A. 外観及び機能	31
B. 表示・安全記号	34
C. 製品分類	34
D. 製品仕様	34
E. 地域別重力加速度の範囲	37

特定計量器の場合

特定計量器に対応した InBody970S では下記のような制限事項があります。

はかりの仕様

ひょう量	300kg
最小測定量	2kg
目量	0.1kg
精度等級	3 級



注意

- ・計量用に使用できる重力加速度の範囲は出荷する時に設定されているので、その範囲外の地域では使用できません。重力加速度の範囲は本装置背面のラベルに書かれています。重力加速度の範囲と地域の関係については、当マニュアルの「V. その他 E. 地域別重力加速度の範囲」をご参照下さい。
- ・取引・証明に使用する「はかり」に対して、2 年ごとに都道府県知事または特定市町村の長が行う定期検査を受けることが義務付けられています。必ず定期検査をお受け下さい。
- ・体成分測定における体脂肪等の値は法定計量の対象外になります。つまり、体重以外の値は法定計量の対象外の値です。



注意

- ・本装置背面には特定計量器に対応したラベルが貼られています。ここに貼られたラベルを剥がすと特定計量器としての検定が無効になり、特定計量器として使用できません。ラベルは絶対に剥がさないで下さい。

初期零点設定

起動時、体重測定部に 10kg 以下の負荷がかかっている場合、この負荷のかかった状態を初期零点に設定します。例えば、測定台に 1kg の負荷がかかった状態で電源を入れると、本装置は 1kg の負荷のある状態を 0kg と表示します。負荷がかかった状態で、60kg の人が測定台に乗ると本装置は 60.0kg と表示しますが、負荷を取り除くと 59.0kg と表示します。

10kg 未満の負荷を置いて電源を入れても測定範囲は 300kg までと変わりませんが、10kg 以上の負荷がかかっている場合はエラーメッセージが表示されて停止します。その場合は電源を切り、物を取り除いて十数秒経ってから再度電源を入れて下さい。

起動時は必ず体重測定部の上に何も物が乗っていないことを確認してから電源を入れて下さい。

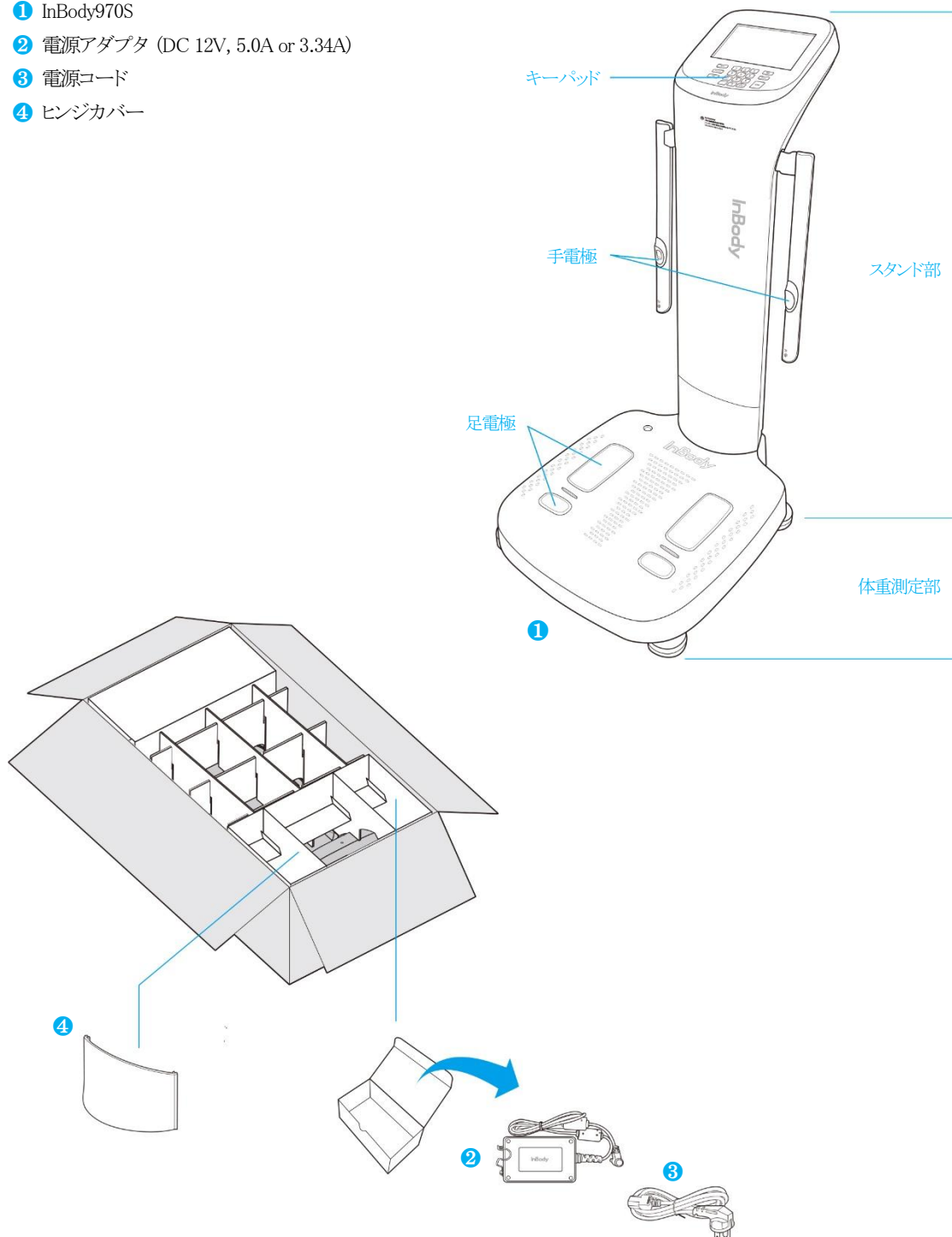
I. InBody 設置

A. 製品構成

InBody970S の製品構成は次のとおりです。各構成品が全て揃っているか確認してください。

* 設置前に構成品に亀裂などの異常がないか確認してください。

- ① InBody970S
- ② 電源アダプタ (DC 12V, 5.0A or 3.34A)
- ③ 電源コード
- ④ ヒンジカバー



B. 設置環境

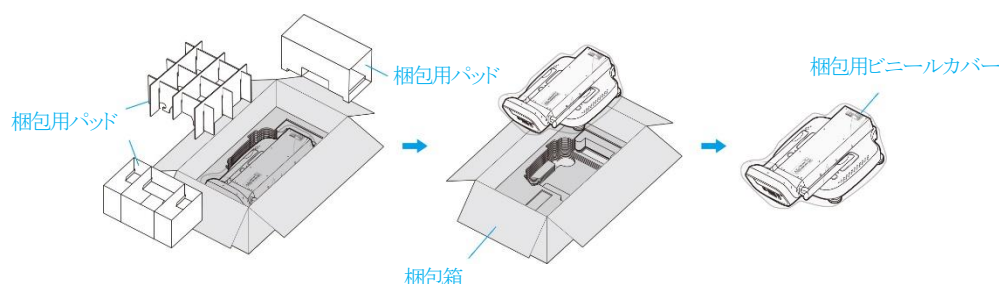
InBody970S を設置する前に設置環境を確認してください。本装置は室内で使用する装置です。室内に設置する場合、必ず下記の基準を満たさなければなりません。

* 設置環境

適正温度	10～40℃	※測定時の室温は 20℃～25℃
相対湿度	30～75% RH	
適正気圧	70～106 kPa	

C. 設置方法

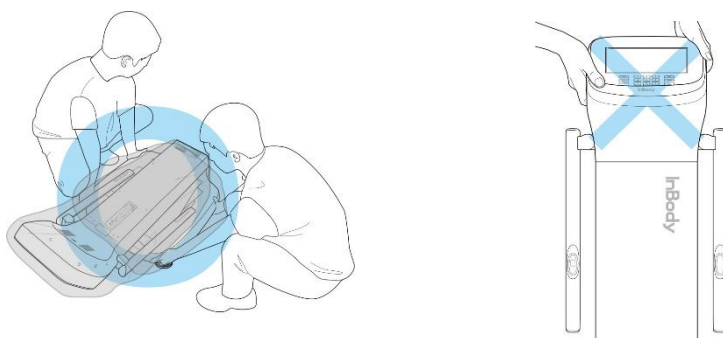
1. InBody970S の梱包を開けて梱包用パッドを取り除いてください。



⚠ 注意

- ・ 取り出しや移動時に LCD があるスタンド部や手電極部位を持って運ばないでください。
- ・ 再梱包のためには梱包材を保管する必要があります。他の廃棄物は関連の法規に従って処分してください。
- ・ 梱包箱を取り扱う際は、手や足が挟まらないように注意してください。
- ・ 梱包箱に子供が入らないように注意してください。

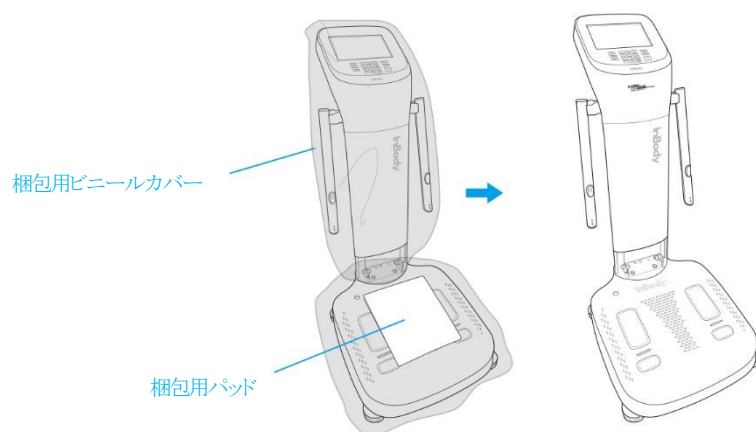
* 運搬の際は下記の図を参考にしてください。



⚠ 注意

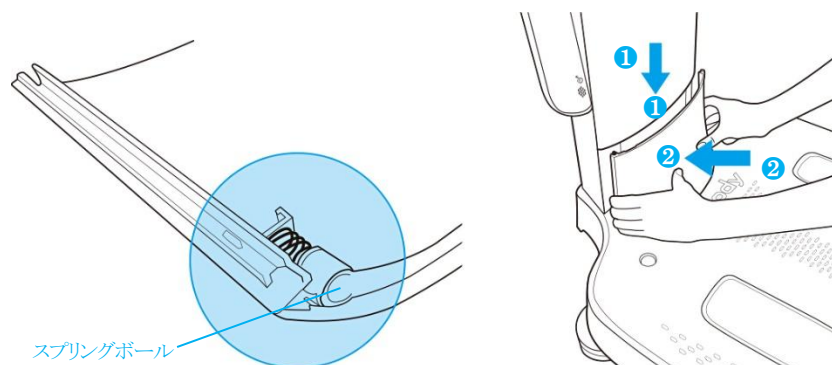
- ・ InBody970S をカーペット上で使用すると装置に静電気による損傷が起きる可能性があります。カーペット上に設置せざるを得ない場合、静電防止マットを敷き、その上に InBody970S を設置してください。
- ・ InBody970S を水平で振動のない床に設置してください。表面に凸凹のある場所に設置すると、測定中に転倒したり、測定結果が不正確になったりする可能性があります。
- ・ 手电極と足電極を洗剤で拭かないでください。洗剤が InBody970S の内部に浸透すると、腐食による故障が起きる可能性があります。InBody970S の清掃には、抗菌効果のあるウェットティッシュを使用してください。
- ・ 梱包用ビニールカバーを頭に被らないでください。

2. InBody970S を梱包箱から取り出してスタンド部を最後まで起こし、梱包用ビニールカバーと梱包用パッドを取り除いてください。



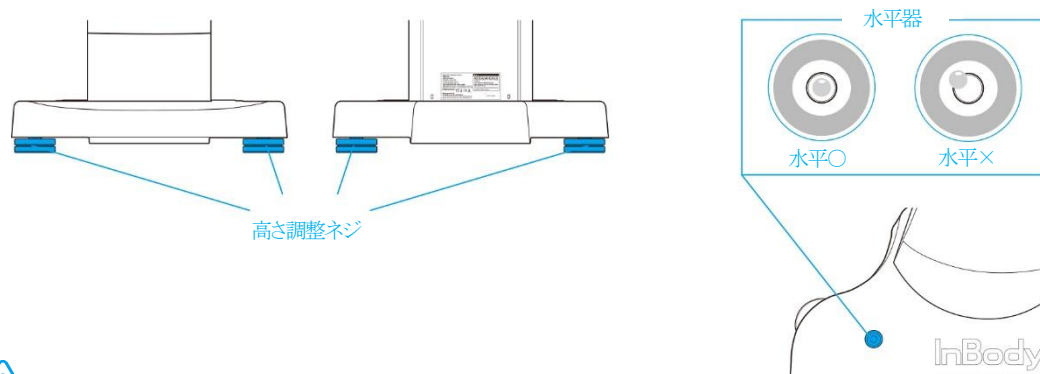
3. ヒンジカバーを垂直に立ててスプリングボールが最後まで押し込まれた状態で、カバーを矢印方向①②の順に取り付けてください。

- * スプリングを押し込めた状態で強く下に押し下ったり、ヒンジカバーを斜めに取り付けたりした場合、装置を損傷させる恐れがあります。
- * 取り付け時に指が挟まれないように注意してください。
- * 室内の移動の際も、必ずヒンジカバーを外して移動してください。



4. 高さ調節ネジを左右に回し、水平器の気泡が中心に来るように調節してください。

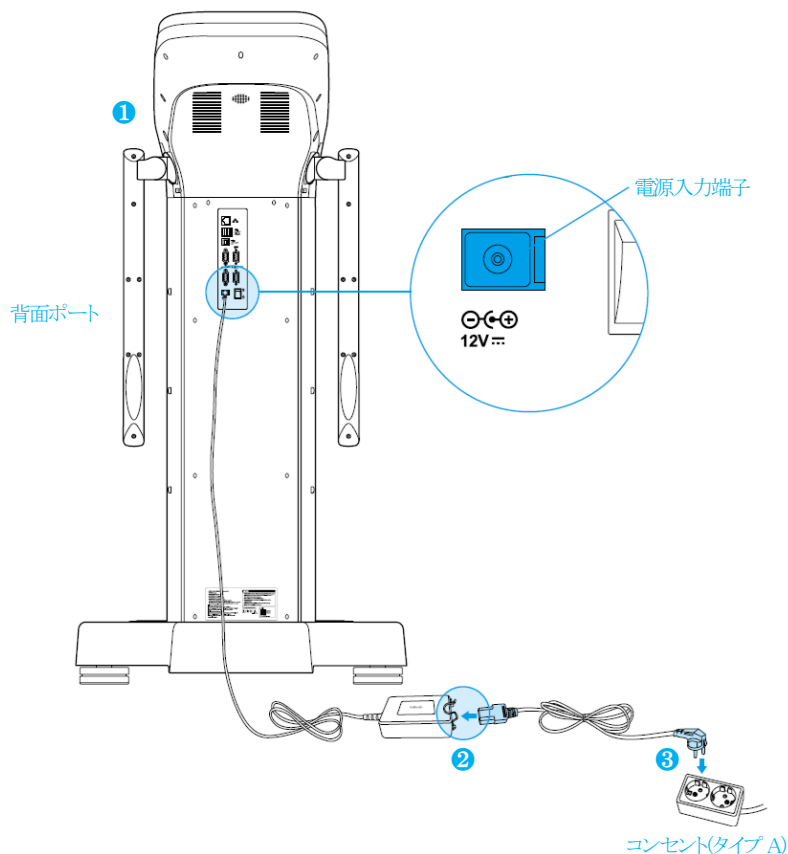
- * 体重を正確に測定するためには、装置を水平に保つ必要があります。



- ・ 高さ調節ネジを回すとき、手を怪我しないように注意してください。

5. InBody970S(①)の背面ポートの電源入力端子に電源アダプタ(②)を接続してください。接続した電源アダプタ(②)を電源コード(③)に接続してください。電源コード(③)のプラグをコンセントに接続してください。

* InBody970S は身長計、LookinBody など他の測定装置やパソコンと接続することができます。本ユーザーマニュアルの「I. InBody 設置 E. 外部機器の接続」を参照してください。



警告

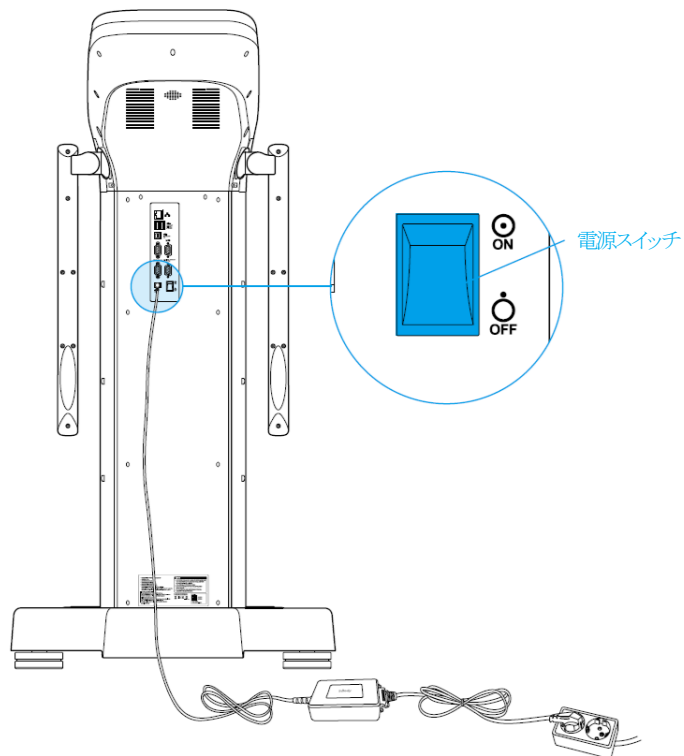
- 電源コードが外れやすい場所に設置しないでください。
- 濡れた手で電源コードに触れないでください。感電する恐れがあります。
- 規格に合う電源(AC100～240V)コンセントを使用してください。規格外のコンセント使用は、火災や故障の恐れがあります。
- 複数の端子を持つコンセントを使用する場合、十分な電力容量のあるコンセントや拡張ケーブルを使用してください。
- 製品を任意に分解しないでください。電氣的な衝撃、製品の故障及び測定結果が不正確になる恐れがあり、保証の対象外となります。
- 電源が入っている InBody970S と他の電子機器を接触させないでください。電氣的な短絡が発生する恐れがあります。



注意

- 接地を取らない場合、装置が電氣的衝撃によって損傷を負ったり、誤作動を起こしたりする可能性があります。また測定結果が不正確になる可能性があります。
- InBody970S が電氣的な干渉を受けると、測定結果が不正確になる可能性があります。電氣的な干渉を与える蛍光灯、大型 AC モーター装置(トレッドミル、エルゴメーター、振動機器、冷蔵庫、エアコン、コンプレッサーなど)、高周波温熱治療器及び電熱機器と InBody970S を近い距離に設置しないでください。電氣的な干渉を与える機器と InBody970S が同じ電源コンセントに接続されている場合、分離して他のコンセントに接続してください。
- InBody970S と他の測定装置を接続する場合、他の装置の電源を先に入れてください。電源を遮断するときは反対に InBody970S の電源を切ってから他の装置の電源を切ってください。InBody970S への電氣的衝撃を最小限にすることができます。
- (株)インボディ・ジャパンが提供するモデルの電源アダプタを使用してください。他の電源アダプタの使用は InBody970S の故障の原因になります。
- 高度 2,000m 以上の場所で InBody970S を使用する場合、体重測定に影響を及ぼす可能性があります。
- 電熱機器のような熱を発生させる機器の近くで使用しないでください。熱による変形や故障、または火災の原因となる恐れがあります。
- 直射日光が当たらない位置で使用してください。装置の変色や劣化に繋がる恐れがあります。

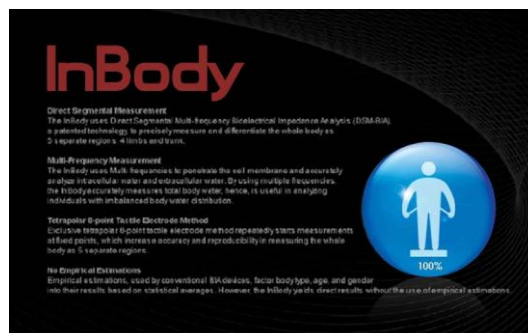
6. InBody970S の電源を入れてください。



D. InBody 必須設定

1. InBody970S の電源を入れると起動を開始します。起動の間に自己点検、体重零点設定、内部回路調節を実施します。

* 起動中は体重測定部に乗ったり、物を乗せたりしないでください。

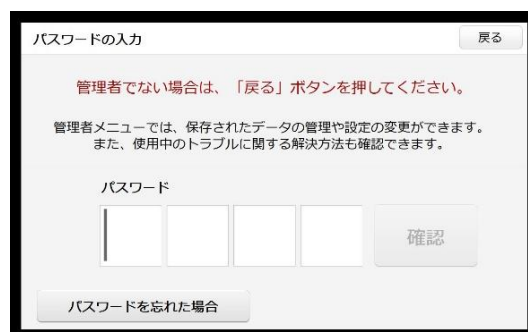


2. 初期画面で管理者メニューボタンを押してください。



3. パスワード(初期設定: 0000)を入力して管理者メニューに入ってください。

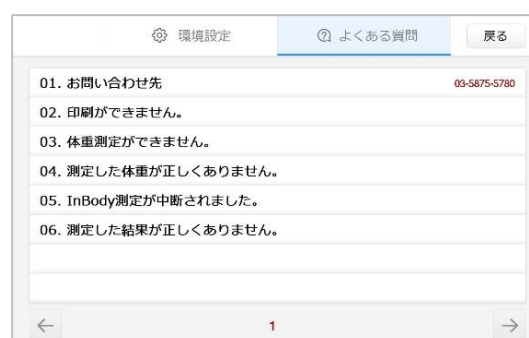
* 設定したパスワードを忘れないように注意してください。パスワードを忘れた場合、(株)インボディ・ジャパンにお問い合わせください。



4. 管理者メニューに入ると「環境設定」と、「よくある質問」が表示されます。



環境設定



よくある質問

1) 環境設定: 測定環境に合うように、InBody970S の設定変更やデータを管理できます。

01. 日付/日付形式/時間/単位/パスワード/音量/国/言語

: InBody の基本的な設定を変更できる機能です。

02. セルフモード、または専門家モード

: 測定者が一人で測定する環境ではセルフモードを、管理者が一緒にいる環境では専門家モードを設定することができます。セルフモードを選択する場合、身長のみ入力して測定を行います。

03. 使用しません。

04. クラウドサービス

: InBody をクラウドサーバーに接続するための機能です。(一部の地域ではサービス提供が受けられません)

05. 年齢/性別入力の省略

: 測定集団によって年齢や性別が常に同一なら、測定時に情報の入力を省略することができる機能です。

06. データ確認/印刷/削除

: InBody 本体に保存されている測定結果を、確認・印刷・削除することができる機能です。

07. 測定結果のコピー

: InBody 本体に保存されている測定結果を USB メモリーに CSV ファイルでコピーする機能です。パソコンでエクセル形式の測定結果を確認することができます。

08. 測定結果のバックアップ/復元/併合

: InBody 本体に保存されている測定結果を USB メモリーにバックアップしたり、USB メモリーにバックアップされている測定結果を InBody 本体に復元したり、既存のデータに併合する機能です。

09. プリンター接続

: InBody に接続するプリンターを設定する機能です。InBody とプリンターを接続すると、測定結果を結果用紙として印刷することができます。

10. 結果用紙の種類

: InBody970S で提供する結果用紙(体成分結果用紙、体水分結果用紙、小児用結果用紙、評価結果用紙、比較結果用紙、リサーチ結果用紙)の中から、印刷する結果用紙を設定する機能です。

11. 自動印刷及び自動印刷枚数

: 測定を完了した後、結果用紙を自動で印刷できるように設定する機能です。一度に 2 枚まで印刷が可能です。

12. 専用結果用紙、または A4 用紙

: 印刷時に使用する用紙を設定する機能です。(株)インボディ・ジャパンが提供する専用結果用紙、あるいは A4 用紙(白紙)が設定できます。

13. 結果用紙の項目

: 体成分結果用紙、体水分結果用紙、小児用結果用紙の右側に表示される項目を設定する機能です。

14. ロゴ入力
： 結果用紙の右上に印刷されるロゴを設定する機能です。
* イメージロゴ入力及び変更は(株)インボディ・ジャパンまでお問い合わせください。
15. 印刷位置の調節
： 結果用紙に印刷される印字の位置を調節する機能です。
16. ネットワーク接続
： InBody とネットワークを、Wi-Fi や LAN を使用して接続できるように設定する機能です。
17. Bluetooth 接続
： InBody とデータ管理ソフト LookinBody を、Bluetooth を使用して接続できるように設定する機能です。
* 本ユーザーマニュアルの「I. InBody 設置 E. 外部機器の接続 2. Bluetooth 接続」を参照してください。
18. 体重入力、または体重測定
： 体成分を測定する時、体重を入力するか、体重を測定するか設定する機能です。
* 計量器仕様の場合、体重入力はできません。
19. 着衣量(風袋引き)設定
： InBody 体重測定時に、体重を補正する値を設定する機能です。(例: 例えばこの値を 1.0kg と設定すれば、どの測定者の体重からも 1.0kg が減らされます。)
20. 標準範囲
： BMI、体脂肪率、ウエストヒップ比の標準範囲を設定する機能です。
* BMI の標準値も設定することができます。
21. 使用しません。
22. 小児成長曲線
： 小児用結果用紙の成長曲線項目に使用される小児標準成長曲線の種類を設定する機能です。
23. タッチスクリーン調節
： タッチスクリーンの精度を補正する機能です。
24. お問い合わせ先
： InBody を購入した販売会社の情報を保存する機能で、お問い合わせやトラブルが発生した時に利用できます。
25. 画面ロック
： InBody の使用を制限するために操作をしないまま画面がロック状態になる時間とパスワードを設定できる機能です。
26. その他
： 個人情報を入力する際に指紋認証や InBodyBAND 認証の使用を設定する機能です。

2) よくある質問: InBody970S を使用する時に発生したトラブルに対して点検項目を提供します。

01. お問い合わせ先

: InBody に対するお問い合わせや、何か問題が発生した時に利用できるよう、環境設定「24. お問い合わせ先」に保存された情報を提供します。

02. 印刷ができません。

: InBody に接続されたプリンターが、結果用紙を印刷しない場合、確認すべき事項を提供します。

03. 体重測定ができません。

: InBody の体重計に乗っても、体重が測定されない場合、確認すべき事項を提供します。

04. 測定した体重が正しくありません。

: 測定した体重が正しくないと感じた場合、確認すべき事項を提供します。

05. InBody 測定が中断されました。

: InBody 測定が途中で中断された場合、確認すべき事項を提供します。

06. 測定した結果が正しくありません。

: 測定値が正しくないと感じた場合、確認すべき事項を提供します。

E. 外部機器の接続

InBody970Sと外部機器を接続する場合、先ず接続方法を確認してください。接続方法は有線(USBポート、9ピンシリアルポート)や無線(Bluetooth)があります。

1. 有線接続

1) プリンター

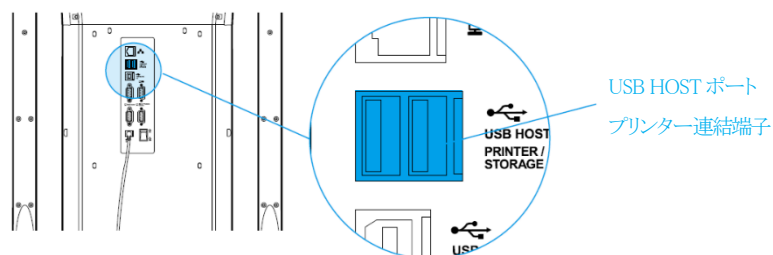
プリンターを InBody970S に接続すると、結果用紙を印刷することができます。

* 必ず(株)インボディ・ジャパンが推奨するプリンターを使用してください。

① InBody970S の電源を切ってください。

* InBody970S の電源が入っている状態では、プリンターを認識できない可能性があります。

② 本体の USB HOST ポートに、プリンターに付属されている USB ケーブルを接続してください。



③ プリンターの電源を入れてください。

④ InBody970S の電源を入れた後、環境設定の「09. プリンター接続」の案内に従って接続するプリンターを設定してください。

⑤ 環境設定の「10. 結果用紙の種類」から「15. 印刷位置の調節」まで、印刷に関する項目を設定してください。

2) 身長計

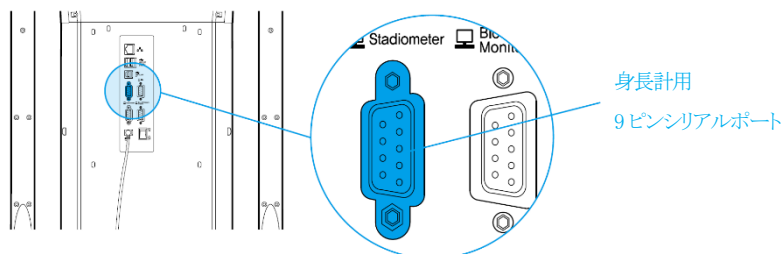
身長計を InBody970S に接続すると、身長計で測定した身長が InBody970S に転送されます。

* 必ず(株)インボディ・ジャパンが推奨する身長計を使用してください。

① InBody970S の電源を切ってください。

* 電源が入っている状態では、身長計を認識できない可能性があります。

② 身長計用の 9 ピンシリアルポートに、身長計に付属されているシリアルケーブルを接続してください。



③ 身長計の電源を入れてください。

④ InBody970S の電源を入れてください。身長計を認識すると、測定待機画面の左上に (身長計のアイコン)が表示されます。

3) 血圧計

血圧計を InBody970S に接続すると、血圧計で測定した血圧が InBody970S に転送されます。

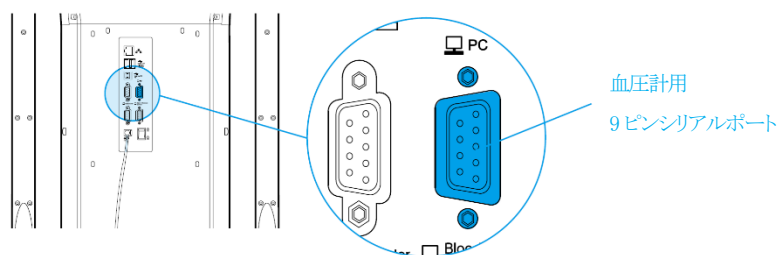
* 必ず(株)インボディ・ジャパンが推奨する血圧計を使用してください。

* 管理者メニューの環境設定の「13. 結果用紙の項目/説明」で血圧の項目を選択し保存すると、結果用紙に印刷できます。

① InBody970S の電源を切ってください。

* 電源が入っている状態では、血圧計を認識できない可能性があります。

② 血圧計用の 9 ピンシリアルポートに、血圧計に付属されているシリアルケーブルを接続してください。



③ 血圧計の電源を入れてください。

④ InBody970S の電源を入れてください。血圧計を認識すると、測定待機画面の左上に (血圧計のアイコン)が表示されます。

4) バーコードリーダー

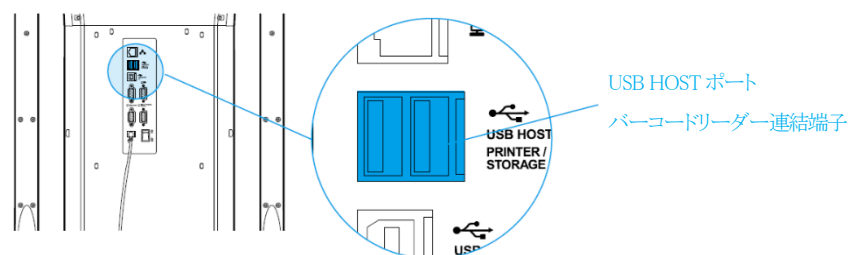
バーコードリーダーを InBody970S に接続すると、バーコードリーダーで読み取った ID が InBody970S に転送されます。

* 必ず(株)インボディ・ジャパンが推奨するバーコードリーダーを使用してください。

① InBody970S の電源を切ってください。

* InBody970S の電源が入っている状態では、バーコードリーダーを認識できない可能性があります。

② 本体の USB HOST ポートに、バーコードリーダーの USB ケーブルを接続してください。



③ InBody970S の電源を入れてください。バーコードリーダーを認識すると、測定待機画面の左上に (バーコードリーダーのアイコン)が表示されます。

5) LookinBody

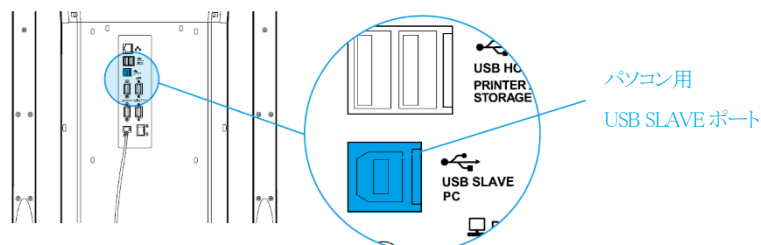
LookinBody を InBody970S に接続すると、測定した結果が LookinBody に転送され、データの管理ができます。

* LookinBody が接続できない場合、(株)インボディ・ジャパンにお問い合わせください。

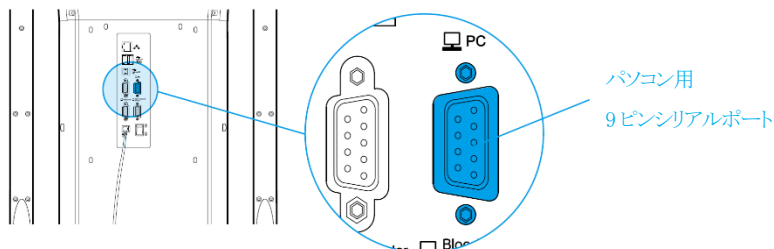
① InBody970S の電源を切ってください。

* 電源が入っている状態では、LookinBody を認識できない可能性があります。

② 本体のパソコン用 USB SLAVE ポートに、LookinBody に付属されている USB ケーブルを接続してください。



または、パソコン用の 9 ピンシリアルポートにシリアルケーブルを接続してください。



③ InBody970S の電源を入れてください。パソコンにインストールされている LookinBody を起動して、画面の案内に従い InBody970S と接続します。



注意

- InBody970S と外部機器を有線で接続する際は、InBody970S がケーブルに引っ張られないように注意してください。体重測定が不正確になる可能性があります。
- 有線ケーブルは通行が頻繁な通路側を避けて配置してください。ケーブルに引っ掛かり怪我をする恐れがあります。
- (株)インボディ・ジャパンが推奨していない外部機器と InBody970S を接続しないでください。InBody970S の故障の原因になる可能性があります。

2. Bluetooth 接続

- 1) InBody970S の電源を入れた後、管理者メニューの「17. Bluetooth 接続」で InBody970S と Bluetooth で接続するプログラム

ム
または互換性のある外部機器を設定してください。

* InBody970S と LookinBody の接続中に外部機器を選択すると、接続されていた InBody970S と LookinBody の接続が切断されます。



- 2) 接続する外部機器の電源を入れた後、外部機器に貼られているシールに記載されている商品名とシリアル番号を確認してください。
- 3) 接続する外部機器を選択し、「次へ」ボタンを押してください。



- 4) 外部機器の Bluetooth ID は「商品名-シリアル番号」で表示されます。接続する外部機器の Bluetooth ID を選択し、「接続」ボタンを押してください。

* Bluetooth ID が表示されなかったり、接続がうまくできない場合は、(株)インボディ・ジャパンにお問い合わせください。



5) 外部装置の接続が完了すると、下記の画面のように接続された外部装置の Bluetooth ID が表示されます。



6) 「戻る」ボタンを押すと、測定待機画面の左上に  (Bluetooth のアイコン)が表示され、接続された外部装置が表示されます。

* 下記の画面は身長計が接続されている状態を表示しています。



3. インターネット接続

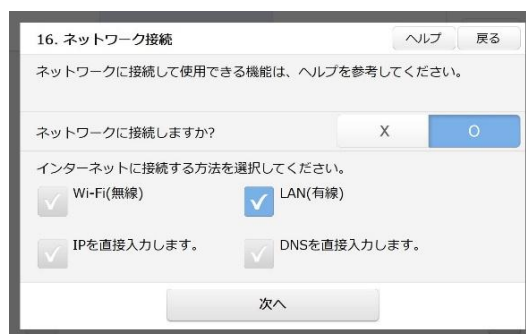
InBody970S をインターネットに接続すると、クラウドサービスを利用したり、パソコンと Wi-Fi(無線)接続することができます。

* クラウドサービスの登録や接続ができない場合、(株)インボディ・ジャパンにお問い合わせください。

1) LAN(有線)接続

- 1 InBody970S の電源を入れた後、管理者メニューの「16. ネットワーク接続」から「LAN(有線)」を選択し、「次へ」を押してください。

* LAN の接続環境に応じて IP アドレス、または DNS を直接入力する必要があります。



- 2 LAN ポートに、LAN ケーブルを接続してください。

* インターネットサービスが登録されている端末、またはコネクタに LAN ケーブルを接続してください。



- 3 LAN 接続でインターネットへの接続が認識されると、クラウドサービスを利用できます。



2) Wi-Fi(無線)接続

- 1 InBody970S の電源を入れた後、管理者メニューの「16. ネットワーク接続」から「Wi-Fi(無線)」を選択し、「次へ」を押してください。

* Wi-Fi の接続環境に応じて IP アドレス、または DNS を直接入力する必要があります。

16. ネットワーク接続 ヘルプ 戻る

ネットワークに接続して使用できる機能は、ヘルプを参考してください。

ネットワークに接続しますか? X O

インターネットに接続する方法を選択してください。

☒ Wi-Fi(無線) ☒ LAN(有線)

☒ IPを直接入力します。 ☒ DNSを直接入力します。

次へ

- 2 接続する Wi-Fi ルーターを選択してください。

ネットワーク接続 戻る

接続するWi-Fi(無線)の種類を選択してください。

Total: 7

TP-Link_60B4	🔒	✓
SPWN_H37_047E63	🔒	✓
IBJGuest	🔒	✓
IBJGuest	🔒	✓

最新情報に更新 直接入力

接続

- 3 セキュリティ設定がされている Wi-Fi ルーターを接続する場合、Wi-Fi ルーターのパスワードを入力してください。

Wi-Fiパスワードの入力 戻る

Wi-Fiのパスワードを入力してください。 (0/70)

確認

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 Del

q w e r t y u i o p

a↔A a s d f g h j k l

z x c v b n m

#+ @~ ← →

- 4 インターネットへの接続が認識されると、Wi-Fi 接続によってクラウドサービス、またはパソコンに接続することができます。

16. ネットワーク接続 ヘルプ 戻る

ネットワークに接続して使用できる機能は、ヘルプを参考してください。

ネットワークに接続しますか? X O

インターネットに接続する方法を選択してください。

☒ Wi-Fi(無線) ☒ LAN(有線)

☒ IPを直接入力します。 ☒ DNSを直接入力します。

次へ

F. 管理時の注意事項



注意

- 体重測定部の上には物を乗せないでください。
- 子供が体重測定部の上で跳ねたりしないようにしてください。滑って怪我をする恐れがあります。
- 装置に無理な衝撃や力を加えないでください。
- 装置を一日以上使わない時は、電源スイッチをオフの状態にしてください。
- 長期間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 手電極のバーを曲げたり、反対方向に回転させたりしないでください。
- 手電極のバーを動かす際には駆動部に指が挟まれないよう注意してください。
- 液体等が装置の内部に入らないように注意してください。装置に入った液体等は、電子部品に致命的な損傷を与える可能性があります。
- 週に一回程度、装置の表面を柔らかい布で優しく拭きとってください。特に、LCD 画面を傷つけないように注意しながら掃除してください。
- 装置の下に異物が挟まらないように注意してください。体重測定が不正確になる可能性があります。
- 装置の下に足が挟まれないように注意してください。怪我をする恐れがあります。
- 梱包材及び他の廃棄物は関連の法規に従って処分してください。

II. InBody 測定

A. 測定前の注意事項



警告

- ・心臓ペースメーカーのような植え込み型医療機器、または生体情報モニタのような生命維持に必要な医療機器を装着されている人を測定しないでください。測定中に微弱な電流が体内に流れるため、装置の故障、生命の危機に繋がる恐れがあります。
- ・装置の近くで遊んだり、体重測定部の上で跳ねたりしないでください。怪我をする恐れがあります。
- ・生体電気インピーダンス分析(BIA)法は微細な電流を利用するので人体に害はありません。しかし、妊婦の方を測定する場合、担当医師または専門家と相談して測定を行ってください。
- ・幼児や一人で立って測定できない方は、体重測定の後に支えを受けた状態で測定することができます。
- ・伝染性の疾病の方、若しくは手の平や足の裏に怪我のある方は装置に接触したり、測定したりしないでください。
- ・装置に乗るときは足台に足を挟めたりぶつけたりしないように注意してください。怪我をする恐れがあります。
- ・装置を無理に掴んだり押したりしないでください。怪我をする恐れがあります。



注意

- ・5分くらい起立した後から測定してください。長時間横になっていた、座っていたりした状態から測定すると、体水分が下半身に移動するため、測定結果が不正確になる恐れがあります。
- ・空腹状態で測定してください。飲食物の摂取は体重や体成分に影響します。また、消化器官の動きが体幹インピーダンスの測定に誤差をもたらす恐れがあるので、食後は2時間くらい空けてから測定してください。
- ・トイレを済ませてから測定してください。体内の残余物は体重や体成分に影響するため、測定結果が不正確になる恐れがあります。
- ・運動やお風呂・シャワーの前に測定してください。汗を掻いたり、血流が変化したりすると、体成分が一時的に変化する恐れがあります。
- ・測定時は大きい金属性の物が体に触れないようにしてください。金属が体に接触している状態で測定すると、測定結果が不正確になる恐れがあります。
- ・常温(20-25℃)で安定した環境の中で測定してください。気温差が大きい環境の中で測定すると、体成分が一時的に変化する恐れがあります。
- ・出来るだけ午前中に測定してください。午後になると体水分が下半身に移動する傾向があるため、測定結果に影響する恐れがあります。
- ・手の平や足の裏が乾燥していたり、角質が多かったりした場合、測定エラーが出る恐れがあります。電解ティッシュで手の平や足の裏を十分に拭いてから測定してください。
- ・身長と着衣量を正確に入力してください。身長と体重は体成分の算出に影響するため、誤った数値を入力すると測定結果が不正確になる恐れがあります。
- ・測定を定期的 to 実施して身体の変化を把握したい場合は、測定条件を同一に守ってください。測定結果は常に同じ条件(同じ姿勢、空腹状態、運動前など)で測定して比較する必要があります。

B. 測定方法

1. 待機画面で裸足になって体重測定部に乗ります。

* 管理者メニューの環境設定「02. セルフモード、または専門家モード」の設定によって画面構成が変わります。

専門家モード: 測定時に管理者が一緒にいる場合を想定して画面を構成しています。(測定結果はIDに基づいて管理されます。)

セルフモード: 一人でも簡単に測定できる画面に構成しています。(測定結果は携帯番号に基づいて管理されます。)



指紋認証有り



指紋認証無し

2. 体重測定を始めます。

* 体重測定部に物を置いたり、他の人が測定者や機器に触ったりすると、体重測定が不正確になる恐れがあるため注意してください。



3. InBodyBAND を着用している場合、InBodyBAND を認識します。

* 管理者メニューの環境設定「26. その他」の設定で InBodyBAND 認証をオンにしているときに限って認識します。

* InBodyBAND と iOS が連動している場合、iOS の Bluetooth 設定をオフにしてください。

* InBodyBAND のファームウェアバージョンが V039 以上である必要があります。



4. InBodyBAND が認識されると、個人情報が自動的に画面に表示されます。携帯番号の後半 3 桁の数字は*(アスタリスク)で表示されます。



5. 「戻る」ボタンを押したり、InBodyBAND が認識されなかったりする場合、指紋情報を確認します。

* 管理者メニューの環境設定「26. その他」の設定で指紋認証をオンにしているときに限って認識します。



6. 指紋が認識されると、個人情報が自動的に表示されます。

* 登録された指紋の位置と異なる位置の指紋が認識されると、個人情報が正常に読み込まれないことがあります。詳細については「IV. よくある質問及び回答 A. InBody に関して」を参照してください。

* 指紋は 1 つの ID に対して 1 件が登録でき、最大 2 万件まで保存できます。

7. 表示された個人情報が異なる場合、個人情報の確認画面右上の「戻る」ボタンを押して、ID または携帯番号を入力します。

* 専門家モードの場合、ID を入力します。

* セルフモードの場合、携帯番号を入力します。

専門家モード

セルフモード

8. ID または携帯番号を登録したくない場合、「ID 未入力」または「スキップ」を押して測定者の個人情報を入力すると、ID や携帯番号を登録せずに測定することができます。

* ID や携帯番号を入力せずに測定すると、本体や InBody アプリにデータが蓄積されません。

専門家モード

セルフモード

9. 測定姿勢を取ります。

- * 正しい姿勢は、「C. 測定姿勢」を参照してください。
- * 手電極と足電極が身体の電氣的接触を認識すると自動で測定を開始します。



10. 測定が始まります。

- * 測定時間は約 30 秒です。



11. 測定が完了したら、結果画面が表示されます。プリンターが接続されている場合、設定している結果用紙の出力形式に応じて測定結果が印刷されます。

- * プリンターの設定及び結果用紙の設定は管理者メニューで行うことができます。



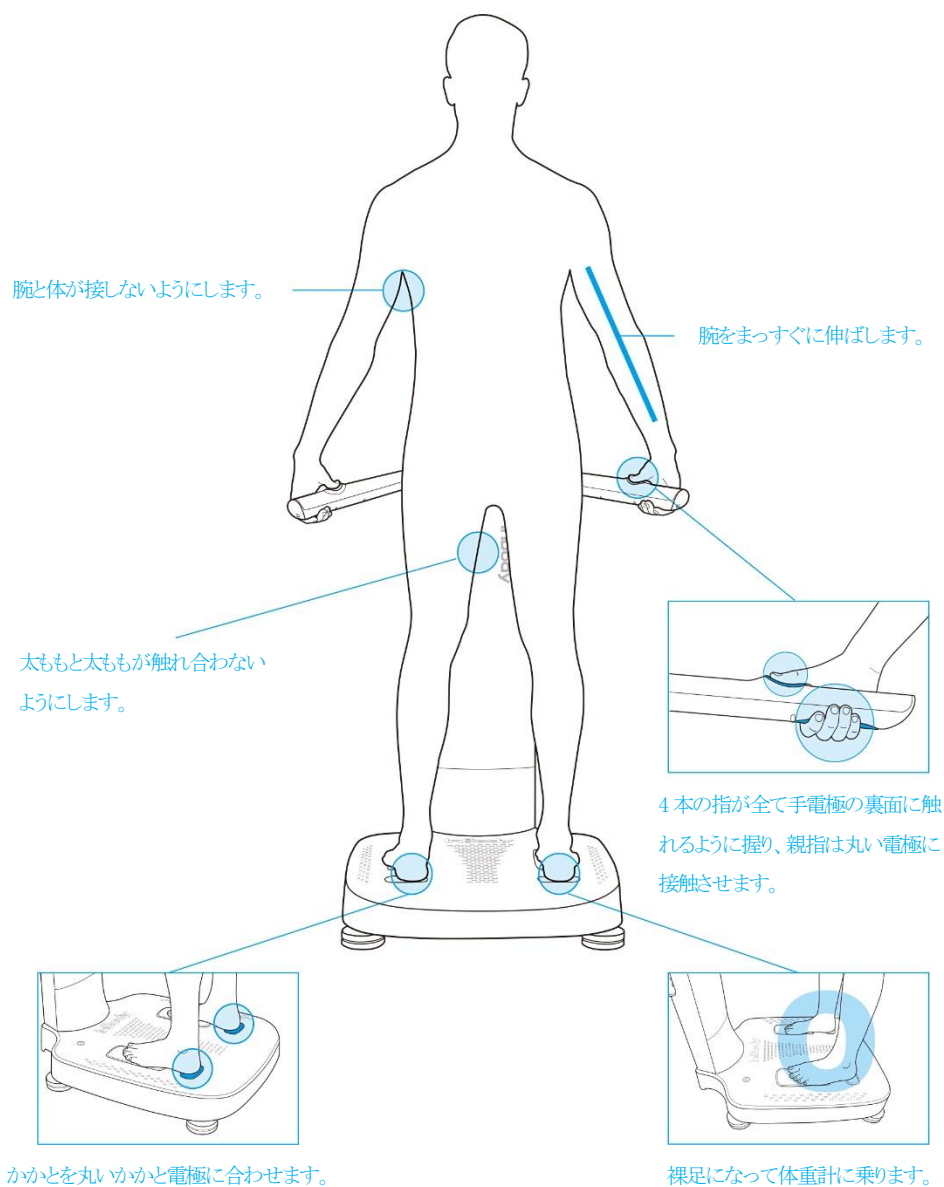
12. InBody から降りると測定が終了します。



C. 測定姿勢

正確に測定していただくためには、測定中に正しい姿勢を維持する必要があります。

- * 測定を進めるには、身体との電氣的接触が重要です。
- * 手や足が乾燥している方は、電解ティッシュで手の平や足の裏を十分に拭いてから測定してください。
- * 測定中は動いたり、笑ったり、喋ったりしないでください。



III. 運送と保管

A. 運搬時の注意事項

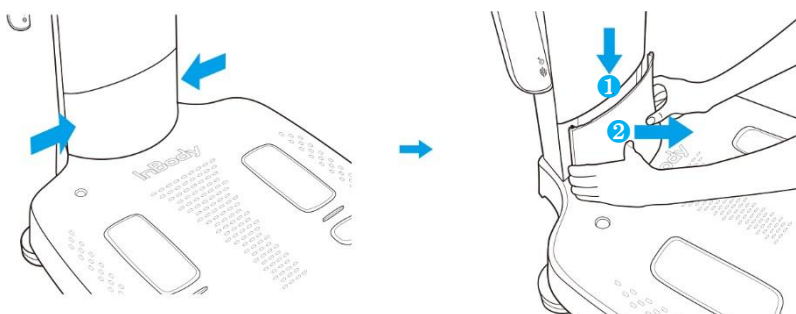
InBody970S を安全に運搬するには、下図のように 2 人で装置を水平に保つ必要があります。



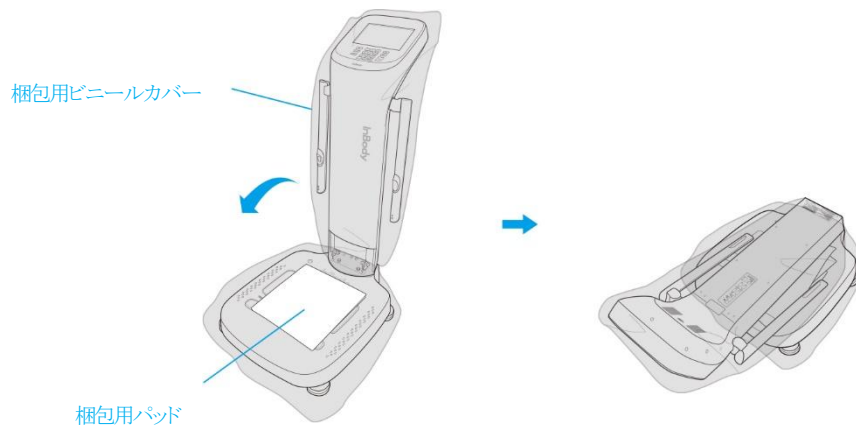
B. 再梱包の方法

InBody970S の設置を完了してからは、なるべく装置を移動しないでください。運搬が必要な場合は、下記の手順で再梱包してから運搬してください。

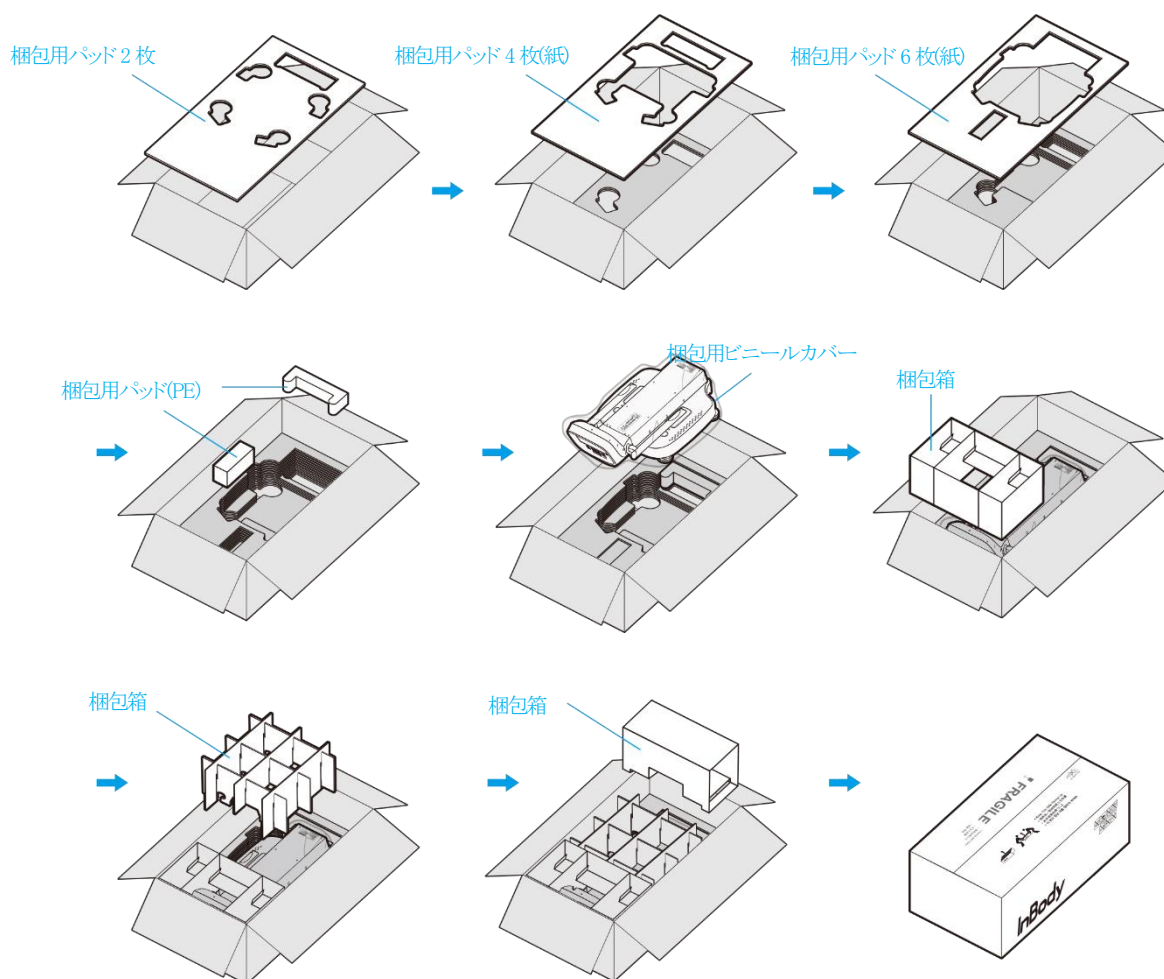
1. InBody970S の電源を切ってください。
2. 接続されている全てのケーブル、電源アダプタ、電源コード、ヒンジカバーを取り外します。ヒンジカバーは両側の隙間を押し、下図のように引いて外してください。
* 室内の移動の際も、必ずヒンジカバーを外して移動してください。



3. InBody970S のスタンド部に梱包用ビニールカバーを被せてください。下図のように梱包用パッドを体重測定部に乗せた後、スタンド部を畳んでください。



4. InBody970S を下記手順で梱包箱に入れてください。梱包材を図のように入れた後、密封してください。



注意

- ・ 再梱包の際は、必ず(株)インボディ・ジャパンから納品された際の梱包材を使用してください。

C. 運送及び保管環境

InBody970S を安全に運送または保管するには、下記の基準を満たす必要があります。

温度較差	-10～70℃
相対湿度	10～80% RH (結露がないこと)
適正気圧	50～106kPa

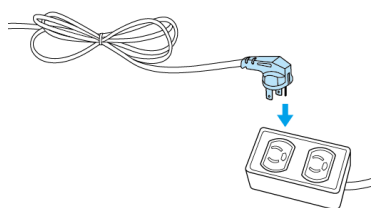
IV. よくある質問及び回答

InBody の操作方法や測定に関してのよくある質問の一部は、「管理者メニュー」の「よくある質問」や当ページで解決方法を記載しています。質問に対する回答が見つからなかった場合や、その他臨床に関する疑問が生じた場合は、(株)インボディ・ジャパンまでお問い合わせください。連絡先は「管理者メニュー」の「よくある質問」の「01. お問い合わせ先」を参照してください。

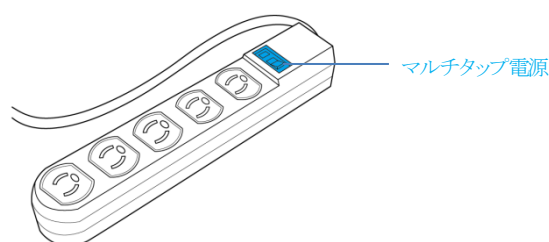
A. InBody に関して

InBody970S で何か問題が生じた場合、まず「管理者メニュー」から「よくある質問」をチェックしてください。一部の問題は内容を確認して解決できる可能性があります。「よくある質問」によって問題を解決することができない場合は、下記の解決策を参照してください。

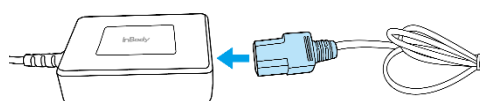
質問	回答
・ 電源が入りません。	・ 電源コードをコンセントにしっかり差し込んでください。



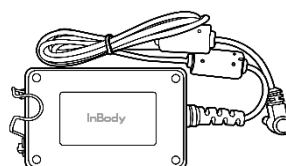
- ・ マルチタップを使用する場合、マルチタップの電源が切れていると電源が入りません。電源が入っているマルチタップか確認してください。



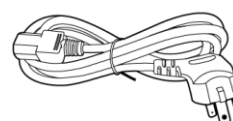
- ・ 電源コードが電源アダプタの接続端子にしっかり挿入されていないと電源が入りません。電源コードを電源アダプタの接続端子にしっかり差し込んでください。



- ・ (株)インボディ・ジャパンが提供しない電源アダプタ・電源コードを使用した場合、電源が入らない場合があります。必ず弊社で提供した電源アダプタ・電源コードを使用してください。



電源アダプタ



電源コード

質問	回答
画面タッチが上手くできません。	- 管理者メニューの環境設定の「23. タッチスクリーン調節」でタッチする正確な位置を補正してください。 * InBody970S に使用されるタッチスクリーンは減圧式です。指先に一定の力を入れて押してください。 - タッチが上手くできなく、管理者メニューに入れない場合、電源を入れ直してください。装置が再起動すると、自動的にタッチスクリーンの位置を補正する画面に移ります。
他の測定装置と接続する方法を知りたいです。	本ユーザーマニュアルの「I. InBody 設置 E. 外部機器の接続」を参照してください。
InBodyBAND が上手く認識されません。	測定者以外の方が着用している InBodyBAND が手電極の近くにいるか確認してください。周辺に Bluetooth 機器が多数あるとうまく接続できない可能性があります。InBodyBAND が認識されない場合、周辺で使用している Bluetooth 機器の電源をオフ、または無効にしてください。
指紋が上手く認識されません。	手が乾燥していたり、傷があったりすると指紋が上手く認識されない可能性があります。指紋が上手く認識されない場合、最初に登録した位置と同じ位置で認識させたり、新しい指紋を登録して指紋情報を更新してください。

B. 測定に関して

InBody 測定に関する質問と回答は下記のとおりです。

質問	回答
・必ず靴下やストッキングを脱がないといけませんか。	・靴下やストッキングを着用した状態で測定をすると、体内に電流が流れにくくなり、正確な測定ができなくなります。必ず皮膚が電極に直接触れた状態で測定する必要があります。
・アクセサリや金属製の時計を着用して測定しても問題ないですか。	・アクセサリや金属製の時計が電流の流れる場所にあると、測定結果に影響する場合があります。しかし、電流が流れない場所にあるイヤリングや眼鏡などの顔周辺アクセサリは着用したままでも問題ありません。正確な測定のためには出来るだけ外すことをお勧めします。
・InBody 測定を絶対してはいけないケースはありますか。	・心臓ペースメーカーのような植え込み型医療機器、または生体情報モニタのような生命維持に必要な医療機器を装着されている方を、絶対に測定しないでください。測定中に微弱な電流が体内に流れるため、該当の医療機器が誤作動する恐れがあります。
・体内に金属製のインプラントを挿入している場合、測定しても問題ないですか。	・安全性の面では全く問題ありませんが、金属製のインプラントは体水分より伝導率が高いため、測定結果に影響する可能性が高いです。
・立位の正しい測定姿勢を保つことができません。この場合でも測定が可能ですか。	・電極に正しく触れることができない状況であれば、測定が可能であっても、測定結果が正しくない恐れがあります。 * 立位の正しい測定姿勢が取れない方を測定できる製品があります。製品に対するお問い合わせは、(株)インボディ・ジャパン(TEL:03-5875-5780)までお願い致します。 * お問い合わせの連絡先は「管理者メニュー」の環境設定「24. お問い合わせ先」で参照できます。
・測定時に体内に流れる電流は人体に害はありませんか。	・InBody は微弱な電流を使用するため、人体に全く害を与えることはありません。InBody はアメリカ FDA、ヨーロッパ CE など世界各国の医療機器承認・認証を受けており、その安全性は立証されています。
・InBody 測定はどのくらいの頻度で実施するのがよいですか。	・2 週間～1 ヶ月に 1 回の間隔で測定すると、栄養・運動処方、リハビリ指導に InBody の測定結果を効果的に使用することができます。 ・頻繁に測定するより、一定間隔の測定から体成分の変化を把握していただくことをお勧めします。 * 体成分の変化は InBody970S の測定画面か結果用紙から確認することができます。
・正確な測定結果のために必ず守るべき注意事項には何がありますか。	・本ユーザーマニュアルの「II. InBody 測定 A. 測定前の注意事項」を参照してください。

V. その他

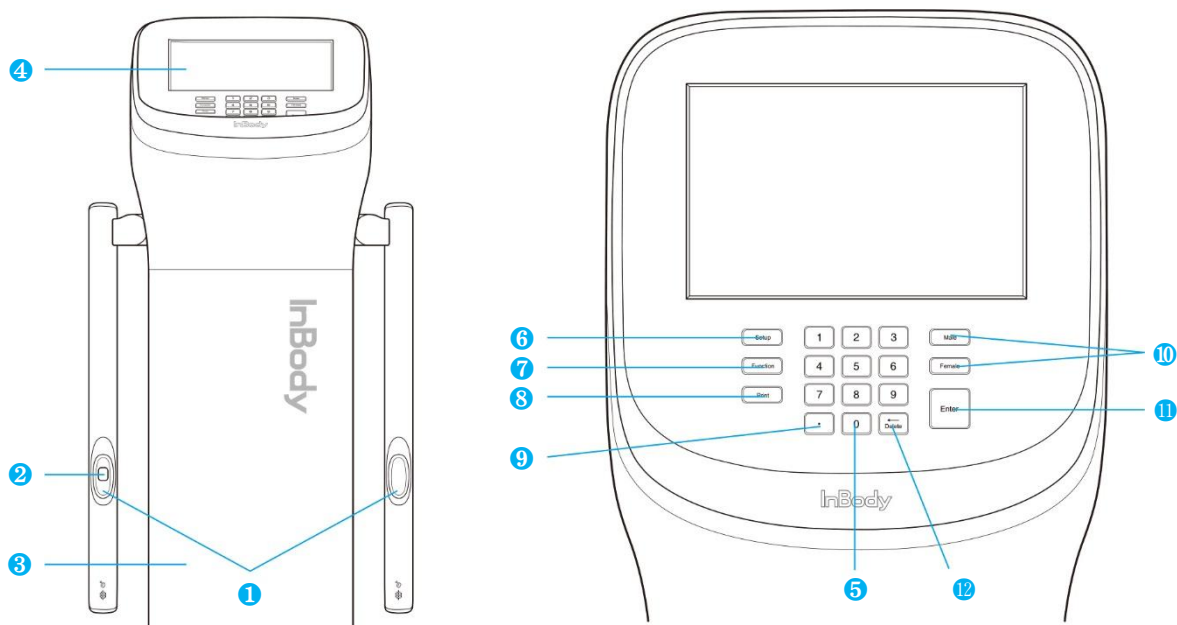
A. 外観及び機能

InBody970S の各部分の名称と機能は次のとおりです。

* 設置前に各部分に亀裂などの異常がないか確認してください。

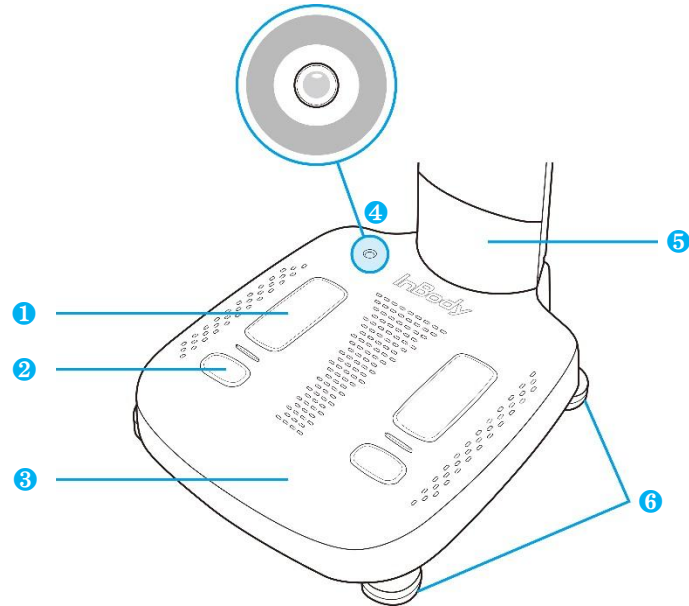
1. スタンド部

- ① 親指電極: 測定時に測定者が親指を当てて電氣的に接触する部分です。
- ② 指紋認識部: 左手の親指の指紋を認識し、個人情報を保存または呼び出します。
- ③ スタンド: 操作部と体重測定部を連結する部分です。
- ④ LCD 画面: 測定の各段階や案内、測定結果などを画面に表示します。画面をタッチして測定に必要なデータの入力及び測定環境設定、測定結果確認などができます。
- ⑤ 数字ボタン: 年齢、身長などの数字形式のデータを入力するために使用します。
- ⑥ Setup ボタン: 測定待機画面時、管理者メニュー「環境設定」に入るために使用します。
- ⑦ Function ボタン: 測定待機画面時、管理者メニュー「よくある質問」に入るために使用します。
- ⑧ Print ボタン: 測定結果を印刷するために使用します。
- ⑨ 小数点ボタン: ID、身長、年齢、体重で小数点を入力するために使用します。
- ⑩ 性別ボタン: 性別を入力するために使用します。(Male: 男性、Female: 女性)
- ⑪ Enter ボタン: 入力を完了したり、管理者メニューで変更事項を保存したりするために使用します。
- ⑫ Delete ボタン: 入力したデータを削除するために使用します。



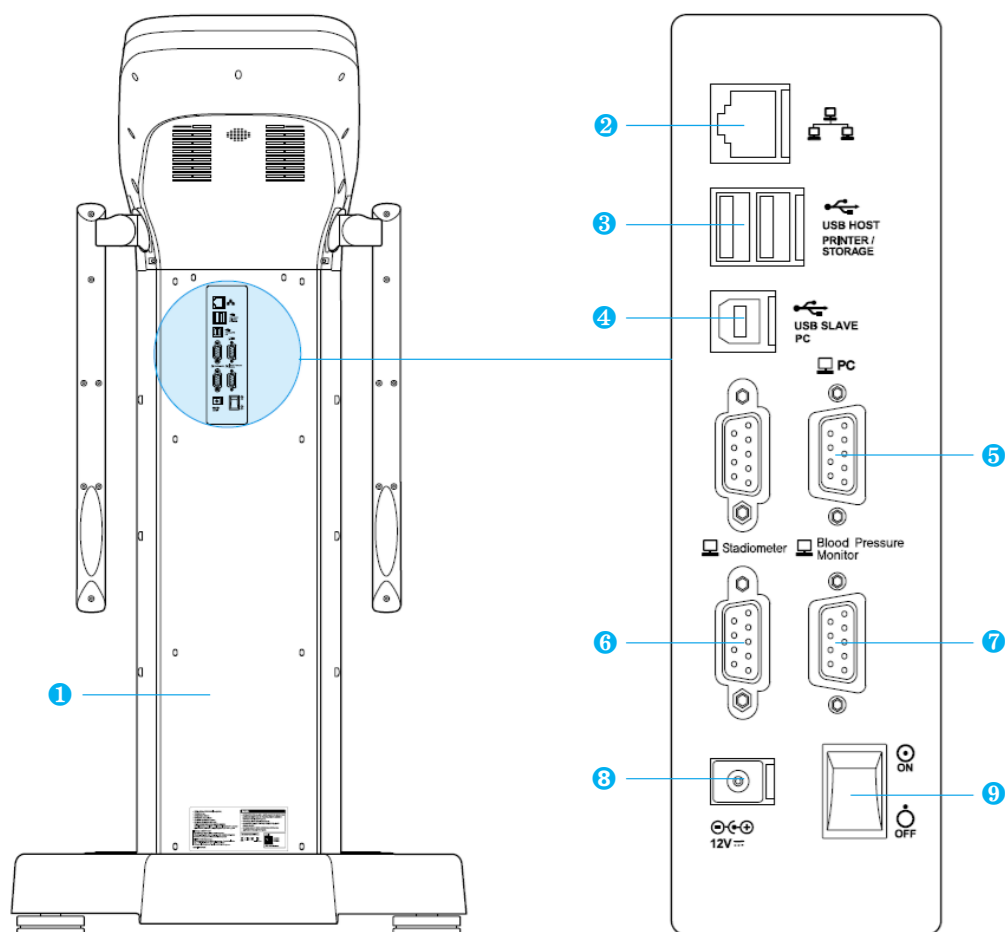
2. 体重測定部

- ① 足裏電極: 測定時に測定者が足裏の前足部で踏んで電氣的に接触する部分です。
- ② かかと電極: 測定時に測定者がかかとで踏んで電氣的に接触する部分です。
- ③ 足台: 測定者の体重を測定する体重計が搭載されています。
- ④ 水平器: InBody970S の水平状態を表示します。
- ⑤ ヒンジ部: 内部でスタンド部と体重測定部を固定しています。
- ⑥ 高さ調節ネジ: 高さを調節して体重測定部の水平を調節することができます。



3. 背面部

- ① 背面カバー: 当社の C/S 社員のみが内部回路点検を目的に開けることができます。
- ② LAN ポート(10/100T Base): InBody970S とパソコンの LookinBody を接続する場合や、有線でインターネットに接続するために使用します。
* ②、④、⑤ のポートの中で 1 つを選択して、InBody970S とパソコンの LookinBody を接続してください。
- ③ USB HOST ポート: プリンターや USB メモリーを接続するために使用します。
- ④ USB SLAVE ポート: InBody970S とパソコンの LookinBody を接続するために使用します。
* ②、④、⑤ のポートの中で 1 つを選択して、InBody970S とパソコンの LookinBody を接続してください。
- ⑤ シリアルポート(PC、RS-232C 雌型): InBody970S とパソコンの LookinBody を接続するために使用します。
* ②、④、⑤ のポートの中で 1 つを選択して、InBody970S とパソコンの LookinBody を接続してください。
- ⑥ シリアルポート(Stadiometer、RS-232C 雌型): InBody970S と身長計を接続するために使用します。
* 必ず(株)インボディ・ジャパンが提供する身長計を接続してください。
- ⑦ シリアルポート(Blood Pressure Monitor、RS-232C 雌型): InBody970S と血圧計を接続するために使用します。
* 必ず(株)インボディ・ジャパンが推奨する血圧計を接続してください。
- ⑧ 電源入力端子: 電源アダプタを接続するために使用します。
* 必ず(株)インボディ・ジャパンが提供する電源アダプタのみを接続してください。
- ⑨ 電源スイッチ: 装置の電源を入れるために使用します。



B. 表示・安全記号

表示事項

	9 ピンシリアルポート (RS-232C)
	LAN ポート (10/100T Base)
	USB ポート

安全記号

	危険の高い電圧
	警告/注意
	BF 型装置
	電源アダプタ連結端子
	電源オン
	電源オフ

その他記号

	機器を分解しないでください。
---	----------------

注意

- ・ この装置は電磁妨害に対するクラス A の適合機器であり、全ての地域で利用することができます。
- ・ 当該無線設備は運用中に電波混線の可能性があるため、人命の安全に関するサービスの提供はできません。
- ・ Bluetooth は多数の電子機器が同じ周波数帯域を使用するため、機器間で電波干渉を起こす場合があります。
- ・ 弊社は Bluetooth 利用によるデータ転送の不具合や不正利用による責任を一切負いません。

C. 製品分類

製品分類	DSM-BIA 方式の体成分分析装置 (Body Composition Analyzer of Direct Segmental Multi-frequency Bioelectrical Impedance Analysis Method)	
	電撃に対する保護形式	クラス I
	電撃に対する保護程度	BF 型
	電磁妨害に対する等級	クラス A
	防水性に対する保護等級	IPX0

D. 製品仕様

生体電気のインピーダンス(BIA)測定項目	生体電気インピーダンス(Z)	6種類の周波数(5kHz、50kHz、250kHz、500kHz、1000kHz、3000kHz)で、5つの部位別(右腕、左腕、体幹、右脚、左脚)にインピーダンス(Z)を測定
	リアクタンス(Xc)	3種類の周波数(5kHz、50kHz、250kHz)で、5つの部位別(右腕、左腕、体幹、右脚、左脚)にリアクタンス(Xc)を測定
	位相角(θ)	3種類の周波数(5kHz、50kHz、250kHz)で、5つの部位別(右腕、左腕、体幹、右脚、左脚)に位相角(θ)を測定
電極方式	8点接触式電極法	
測定方法	部位別直接多周波測定法(Direct Segmental Multi-frequency Bioelectrical Impedance Analysis Method、DSM-BIA方式) 同時多周波インピーダンス測定法(Simultaneous Multi-frequency Impedance Measurement、SMFIM方式)	
結果項目	[全身・部位別] 体水分量、細胞内水分量、細胞外水分量、細胞外水分比(ECW/TBW)、筋肉量、体脂肪量 [全身] 体重、BMI、体脂肪率、除脂肪量、タンパク質量、ミネラル量、骨ミネラル量、骨格筋量、体細胞量、基礎代謝量、水和率(TBW/FFM)、除脂肪指数(FFMI)、体脂肪指数(FMI)、骨格筋指数(SMI)、適正体重、筋肉調節、脂肪調節、体重調節 [部位別] 周囲長(首、胸部、腹部、臀部、右腕、左腕、右太もも、左太もも) [その他] 体成分履歴(8回測定結果)、インピーダンスグラフ(部位別・周波数別)、0kHz インピーダンス(Z_0)、 ∞ kHz インピーダンス(Z_∞)	
体成分算出	統計補正(人種、性別、年齢、体型)の排除	
ログ表示	結果用紙に施設名、住所、連絡先の記載が可能	
結果確認	LCD画面、結果用紙、データ管理ソフト LookinBody (オプション)	
結果用紙の種類	体成分結果用紙(専用/内蔵)、体水分結果用紙(内蔵)、小児用結果用紙(内蔵)、評価結果用紙(内蔵)、比較結果用紙(内蔵)、リサーチ結果用紙(内蔵)	
測定音	測定時の進行状況、環境設定保存、個人情報入力を知らせる案内音及び測定時の音声ガイドを設定可能	
測定姿勢	立位	
測定画面	カラーLCDで測定過程と測定結果を表示	
管理者メニュー	測定環境に合わせて InBody970S の機器設定及び測定データの確認	
結果保存	ID入力時、InBody970S 本体に測定結果保存(測定合計 100,000 回まで保存可能)	
データコピー	USB メモリーに保存可能(Excel、LookinBody で確認可能) ※(株)インボディ・ジャパンが推奨する USB メモリー	
データバックアップ	USB メモリーで機器に保存されたデータのバックアップと復元	
プリンター接続	USB ポート	
オプション	プリンターセット、プリンターデスク、データ管理ソフト(LookinBody120)、クラウド型データ管理サービス(LookinBody Web)、専用支持台、手動身長計 BSM170、握力計 InGrip、バーコードリーダー	
使用電流	300±30 μ A	
消費電力	70VA	
電源アダプタ	① DELTA (MEA-065Z12CA) 電源入力 100-240~, 50/60Hz, 0.75-1.5A 電源出力 12V, 5.0A ② Mean Well (GSM 40A12-PIIR) 電源入力 100-240~, 50/60Hz, 0.5-1.0A 電源出力 12V, 3.34A	
表示画面	1280×800 10.1inch Color TFT LCD	
入力インターフェース	タッチスクリーン、キーボード、Bluetooth 2.1/4.2、指紋認証	
外部インターフェース	RS-232C×4、USB HOST×2、USB SLAVE×1、LAN(10/100T)×1、Bluetooth×1、Wi-Fi(2.4G/5G)×1	
対応プリンター	(株)インボディ・ジャパンが推奨するプリンター	
装置寸法	W614×L964×H1239mm	
装置重量	41.1kg	
測定時間	約 30 秒 ※測定時間は測定姿勢や動作環境により異なる場合があります。	

動作環境	[温度] 10～40℃ [湿度] 30～75%RH [気圧] 70～106kPa
運送及び保管環境	[温度] -10～70℃ [湿度] 10～80%RH [気圧] 50～106kPa(結露がないこと)
体重測定	検定付 [ひょう量] 300kg [目量] 0.1kg [着衣量(PT)] 0～5.0kg(0.1kg 単位) [精度等級] 3 級 検定無 [ひょう量] 300kg [目量] 0.1kg [着衣量(PT)] 0～5.0kg(0.1kg 単位)
身長範囲	110～220cm
測定対象年齢	6 歳以上

* 性能改良のため仕様・デザインは予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

E. 地域別重力加速度の範囲

* 特定計量器使用の場合

この表は使用の地域と重力加速度の範囲の目安となります。

本装置の背面ラベルに書かれている重力加速度の範囲以外の場所へ本装置を移動して使用することはできません。

精度等級 3 級 目量の数 3000

地域名	都道府県		重力加速度の範囲 (m/s ²)
北海道地方	北海道		9.803～9.807
東北地方	青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県		9.799～9.804
	福島県		9.798～9.801
新潟・北関東	新潟県、茨城県、栃木県、群馬県		9.796～9.801
関東甲信地方 (茨城・栃木県を除く)	東京都、神奈川県、群馬県、埼玉県、千葉県、山梨県、 長野県		9.794～9.799
東海・北陸・近畿・ 中国・四国地方	北陸 3 県	福井県、富山県、石川県	9.795～9.800
	東海 4 県	静岡県、岐阜県、愛知県、三重県	
	近畿 2 府 4 県	大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県、京都府、兵 庫県	
	中国 5 県	山口県、岡山県、鳥取県、広島県、島根県	
	四国 4 県	香川県、愛媛県、徳島県、高知県	
九州地方	長崎県、福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県、大分県、鹿児島県 (薩摩地方に限る)		9.794～9.797
南西諸島地方	鹿児島県 (薩摩地方を除く)、沖縄県		9.789～9.794



注意

- 本装置を移動される際は事前に移動先の重力加速度をお調べになった上で行ってください。
- 移動できる範囲は背面の計量検定ラベルに記載されている重力加速度の範囲内に限ります。

www.inbody.co.jp